

平成 26 年度 事業報告



倉敷芸術科学大学

今年度の最重要事項として、社会のニーズに合う人材を養成して、卒業生が完全に就職できるように、教職員が一丸となって、徹底した教育指導を行います。



教育面では芸術と科学の協調をさらに推し進めて、芸術学部・産業科学技術学部・生命科学部の枠を超えた連携を深めます。今年から学科を 10 学科から 7 学科に統合して体制の充実を図り、密度の高い教育に取り組みました。

研究面では教員全員が最先端の研究を推進し、より多くの研究者が科学研究費補助金の申請を行い、研究の成果を教育や地域社会に還元できるように努めました。

地元地域との連携では外部諮問委員会などからのご意見・提言により学外との窓口を明確化し、大学の教育ならびに外部からの意見等を運営に反映させるため努力しました。

創立 20 周年を迎えるにあたり、古い体質から脱皮するため、さらなる教育改革としっかりした大学の環境作りを推し進めました。

「社会に貢献できる人材養成」などの建学の理念を持つ、同じ加計グループの学校との教育連携を強化し、特に、岡山理科大学および千葉科学大学とは互いに協力し合いながら、幅広い教育研究を行っていきます。

倉敷芸術科学大学 学長 土井 章

教育の充実

■共通教育

従来の教養教育から全学共通教育化の改革を進め、人間力、社会人基礎力の育成、初年次に大学で学ぶ意識を高める導入教育の強化および教育内容・教育方法の充実を図るよう、さらに教養科目と専攻科目が連動した全学的カリキュラムへの見直しを始めました。

■学部・学科等の改組

・**芸術学部**：従来の美術工芸学科とデザイン学科を統合し、デザイン芸術学科（入学定員 55 名）に名称変更しました。（4月1日より）

・**産業科学技術学部**：従来の経営情報学科と観光学科を統合し、経営情報学科（入学定員 95 名）1 学科体制とし、観光をコース化し継続して教育しています。（4月1日より）

・**生命科学部**：生命科学科の入学定員を 45 名から 50 名に変更しました。生命動物科学科の学科名称を動物生命科学科（入学定員 60 名）に変更しました。また、健康科学科と健康医療学科を健康科学科（入学定員 85 名）として統合し、健康科学専攻と鍼灸専攻に専攻化し継続して教育しています。（4月1日より）

・**製菓衛生師別科**：平成 26 年度末をもって廃止しました。

■産学連携教育

倉敷市の推進する中心市街地活性化事業や経済産業省所管の戦略的中心市街地商業等活性化支援事業と協力し、都市づくり、産業、観光振興など地域と連携した人材育成を進めています。また、デザイン・映像分野では企業や行政機関から依頼される製品デザイン・CM等の製作により、学生の意欲向上をめざした生きた課題授業を継続して実践していきます。

■高大連携教育

文部科学省SSH(スーパーサイエンスハイスクール)採択校や教育協力提携校との生命科学、IT科学、美術工芸、デザイン、アニメーション分野などでの連携を引き続き行い、大学、高校間の境目のない接続教育の実現を進めています。

■入学前教育・初年次教育

昨年度に続き、入学前の新生生に対し、入学前教育課題集を作成、送付し、新生生が大学生活に期待や希望を抱いて入学できるよう、入学前準備教育を充実させました。入学後は、1年次対象に前・後期、基本英語・基本数学・基本化学・基本物理の4科目8単位の修得を可能とし、学生一人一人の学力に応じた個別相談ができる態勢を加えることにより、初年次教育を継続して充実させていきます。

■FD・SDへの取り組み

FD・SD講演会、授業アンケート、学生満足度に関するアンケート、授業公開などFD・SDへの取り組みを昨年度に引き続き実施しました。授業アンケートに関して、実施結果を分析し、授業改善に向け反映するよう努めました。

■学科の特色ある取り組み

・芸術学部において、フランスの印象派画家クロード・モネの自宅庭園を再現した観光施設「モネの庭」がある高知県北川村と昨年度包括連携協定を結び、今年度から素晴らしい創作環境のもと学生の教育の場として活用しました。

(1) 北川中学校の全校生徒と本学学生との交流と美

術教室の実施

- (2) 北川村村民のための美術教室の実施
- (3) 北川小学校の全校児童との陶芸教室の実施。



・生命科学科では、平成24年5月に設立された「鈴木章がミストリーネットワーク」を通じて、引き続き多才な講師陣による公開講演会を開催し、化学教育の普及をめざして継続して活動していきます。

■教育改善の支援

・大学コンソーシアム岡山

大学コンソーシアム岡山では、岡山県内の16大学が連携し、(1)大学相互の協力と情報交換、(2)地域社会との交流と生涯学習の推進、(3)地域高校との連携、(4)地域創生学の構築、(5)地域発信による国際交流を行っています。本学は連携の中で、相互単位互換として科目提供、また、生涯学習講座の講師派遣の一部を担当しました。

・産業界のニーズに対応した教育支援

平成24年度産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業に中四国の18大学が連携し、採択された「産業界等との連携による中国・四国地域人材育成事業」において、地元の企業、経済団体、地域の団体や自治体等と産学協働し取組を実施することにより、社会的・職業的に自立し、産業界のニーズに対応した人材の育成をめざしました。具体的に補助事業の最終年度となる今年度も引き続き本学では(1)インターンシップの充実、(2)キャリア教育の充実、(3)学生マイスター制度の充実、(4)e-ポートフォリオの充実の4つの取組を中心に事業を推進しました。取組の概要は、<http://www.kusa.ac.jp/competitive-funds/cultivation/> を参照。

■鍼灸ケアセンター

ヘルスパイア倉敷にて、生命科学部健康科学科鍼灸専攻の学生が鍼灸ケアセンターを実習に利用し、相互の連携を深めています。

また、平成25年3月には鍼灸治療院を開院し、大学有資格教員が下記の日程にて外部診療を行っています。

毎週火・木曜日、第3金曜日
9:30～13:00、14:00～17:00



研究の充実

科学研究費助成事業（補助金分・基金分）、受託研究、共同研究事業等の外部資金を積極的に獲得することを推進し、外部資金相談窓口を設けるとともに情報発信し、研究活動の充実を図りました。

学生支援

■修学支援

入試の多様化に伴い、入学した学科の基礎学力として必要な科目を高校で学習しないで入学する学生が多くいます。そのため基礎学力の充実を図るため各科目（英語・数学・物理・化学）の学習相談や基本講座を開設し学習の支援を行いました。

■進路支援

・就職ガイダンス

就職ガイダンスは、1，2年次生の低学年を対象に数回開催しました。3年生前期からは、OB・OGの体験報告会や4年次生の内定者報告会をはじめ、マナーメイク講習、個人/集団面接トレーニングなど

も数回取り入れて実施しました。

・就職対策講座

履歴書作成や小論文対策等を集中的に実施しました。また、公務員採用対策講座を通年で実施し、公務員希望者を支援しました。

・職業適性等

3年次生対象に、年2回（7月・10月）SPI適性模擬検査を実施し、学生が自分の基礎能力を知ることにより、採用試験に向けた対策に反映させました。また、11月には就職実践模試（一般常識・基礎学力テスト）やエントリーシート攻略テストを実施するなど、実際の就職試験に備えました。

・就職支援

就職活動の質問、不安、悩みなどの対応ができるように24時間メールにて学生対応にあたりました。就職試験に向けた面接指導や履歴書指導のほか、就職に関する相談もキャリアセンターで随時受付し、学生に対するきめ細やかな就職支援を行いました。

・学生カルテ

学生との面談記録、キャリアガイダンスの出欠状況などの就職活動状況が一目でわかるように学生カルテを活用し、就職支援の一層の充実を図り、従来に増してきめ細かい学生支援を展開しました。

・就職懇談会

企業担当者と教職員が情報交換を行う、加計グループ合同の就職懇談会を、東京、広島、大阪で開催し、就職先の開拓や採用情報の入手に努めました。

■生活支援

・奨学金支援

日本学生支援機構の奨学金を中心に各種奨学金（地方自治体等）を含め、人物、学業に優れ、経済的な理由で修学が困難な学生に経済的な援助を行う事務窓口を設け修学支援しました。

・健康等支援と相談

学生、教職員の健康管理と健康増進を図るため、健康相談、心の健康相談（カウンセリング）：対人関係・家族・家庭に関する相談、修学・進路に関する相談、心理的・精神的問題に関する相談、その他大学生活に関する相談等の支援を行いました。

■留学生支援

日本の事情をよく知らない留学生に対し、大学生活が不自由なく送れるよう生活指導を行い、様々な問題や悩みの相談、また、新入生に対しては、指定宿舎の部屋の確保など、生活面で学費減免や各種奨学金の紹介など支援を行いました。今後の海外情勢の好転を予想し、多くの留学生の受け入れに備えました。

社会連携・社会貢献

■地(知)の拠点整備事業(COC)の推進

地域再生の核となる大学をめざして、昨年度に引き続き本学とくらしき作陽大学の2大学の共同申請を計画し、4月に申請書を文部科学省に提出。全国から237件の応募があり、そのうち採択された25件の1つに選ばれました。この採択された事業は、本学とくらしき作陽大学の2大学が倉敷市と強力で連携して推進するもので、乳幼児から多様な成長・発達の基礎となる五感力に美術と音楽の要素を取り入れたカリキュラムの構築などにより、文化を支える倉敷に根付いた人材を育成することでその成果を地域へ還元していくことを目的とするものです。補助事業1年目、申請計画通り進めました。

教育研究環境

■施設の充実

- ・最新の環境のもとで充実した教育を行うため、パソコン及びパソコン関連設備の更新を行いました。
- ・開学以来の空調設備の老朽化に伴い、よりよい環境のもと教育・研究が可能となるよう5号棟・7号棟の空調設備の更新を行いました。
- ・学生のサークル活動を援助するため、弓道・アーチェリー射場の夜間照明設備の設置を行いました。

・ヘルスピア倉敷のスケートリンク改修工事による通年利用が可能となり、12月6日のオープニングセレモニーには同大学の選手と共に地元の高橋大輔選手、無良崇人選手によるミニアイスショーが行われ、スケート関係者を含む約300名による祝賀会が開催されました。今後は氷上競技における西日本の拠点として活用されることが期待されています。

学生の受入

■重点地区を強化した広報戦略

県内(地元)を重視した募集活動を継続して展開し、さらなる志願者の増加をめざしました。福岡で開催の合同説明会は、4年目を迎え、さらに実績があがるよう強化しました。

■関心度アップ対策

資料請求者へさらなる関心を持ってもらうよう、大学トピックス(芸科大通信)をタイムリーに発信し、接触回数を増やし関心度アップを狙いました。業者企画のDMによる幅広い情報発信も展開しました。

■オープンキャンパス

春のテーマ「考える」、夏のテーマ「深める」、秋のテーマ「極める」。模擬体験授業、学科体験イベント、在学生・卒業生の頑張り紹介など多彩なイベントを用意。夏は、岡山県内外から無料送迎バスを運行し、学生ガイドによる「倉敷美観地区観光ツアー」を開催しました。また、保護者対象オープンキャンパスを10月に開催しました。

■合格者対象説明会

合格者に対しての説明会を実施し、アパート、奨学金など合格者やその保護者の抱える疑問や不安を解消し、歩留まりの強化に努めました。

■知名度アップ対策

・平成27年度の開学20周年を記念し、大学のロゴ及びキャッチフレーズを制作し、各種印刷物に使用して、大学の認知度アップをめざしました。



・霞橋側壁面へ大型大学名看板を設置し、倉敷市をはじめ、地元知名度アップをめざしました。



内部質保証

■自己点検・評価

本学では、開学と同時に自己評価委員会を設置し、自己点検・評価に取り組んでいます。この委員会には、学内委員のほか、産・官・学から1名ずつ外部有識者として構成員に迎え、外部委員の意見を評価に反映させています。大学院、学部、学科、各種委員会が当初目標を設定し、中間報告を経て最終到達報告を行い、次年度に前年度を踏まえた改善目標を設定するなどPDCAサイクルを機能させ教育改革を行いました。

■外部諮問委員会の活用

学長の諮問機関として、4分科会25名からなる外部諮問委員会(平成24年度、25年度の2カ年)を設置し、本学が一層の充実・発展を図るための大学改革のあり方について意見を求め、平成26年3月に委員会より学長に答申されました。今後大学として、この答申に沿って本学の充実・発展のため改善に努めていきます。

■教員業績

教員の基本情報、教育活動、研究業績、学内活動、社会貢献活動等の項目をデータベース化し、教員情報システム構築の検討を行いました。これにより、各教員の業績等を把握し、昇任等の参考にするなど、いろいろな面の活用を継続して考えていきます。

その他取組等

■創立20周年記念事業

平成27年度の創立20周年を記念し、(1)「記念オブジェの制作・設置」(2)「駐輪場への屋根の設置」(3)「クラブハウスの設置」(4)ホームページへの「創立20年の歩み」やこれからの将来に向けてのページの制作などの記念事業を計画し、(2)(4)については、今年度工事、制作を完了しました。また、ヘルスピア倉敷アイスアリーナを一年中利用できるよう改修しました。

受賞・課外活動

■主な受賞

- 第65回岡山県美術展覧会
 - 洋画部門 奨励賞1名、入選2名
 - 日本画部門 地域奨励賞1名、入選1名
 - デザイン部門 岡山市長賞1名、奨励賞1名、入選5名
 - 工芸部門 県展賞2名
- 第24回スクエアエックス・マンガコンテスト 佳作1名
- 第3回晴れの国おかやま映像コンテスト
 - 地域映像部門 部門賞1名、入1名
 - お宝発見部門 入選1名
- 第12回NHKミニミニ映像大賞
 - ファイナリスト入選 メディア映像学科
- 岡山県洋菓子コンテスト2014デザート部門学生部門
 - 金賞1名、銀1名

■部活動報告

○バスケットボール部

(男子)

第6回中国学生バスケットボール新人大会 3位

中国大学バスケットボール秋季大会 4位

(女子)

第40回中国大学バスケットボール選手権春季大会優勝

第6回中国学生バスケットボール新人大会 3位

中国大学バスケットボール選手権秋季大会 優勝

第66回全日本大学バスケットボール選手権大会出場

○弓道部

第62回全日本学生弓道選手権大会

個人戦出場1名

○フィギュアスケート同好会

2014年 JOC 初スシボルアスリート 選出

四大陸選手権・世界シニア選手権日本代表 選出

第69回国民体育大会フィギュアスケート競技

成年男子2位

2014中四国九州フィギュアスケート選手権大会

男子シニア優勝、女子シニア優勝

ISU 公認大会フランス・ニース大会 シニアの部総合3位

第8回西日本学生フィギュアスケート選手権大会

個人男子1位、個人女子4位、17位

第87回日本学生氷上競技選手権大会3名出場

グランプリシリーズ上海大会 個人男子8位

第83回全日本フィギュアスケートシニア選手権大会

個人男子8位、個人女子24位

人事・組織

■学長・学長顧問・副学長・学部長等の選出

学長の任期途中での退任により、学長、学長顧問、副学長、芸術学部長、芸術研究科長等の選出が行われました。学長は、土井章氏、学長顧問は、唐木英明氏(前学長)、副学長には、加計悟氏(再任)、児島塊太郎氏及び田丸憲二氏、副学長補佐には、猪木原孝二氏、また、児島芸術学部長の副学長就任に伴い、芸術学部長・芸術研究科長には、近藤研二氏が就任し、

新体制で4月1日より大学運営に当たっています。

■製菓衛生師別科の廃止

昨年度の調理師別科(1年制)に続き、在籍者全員修了したため、製菓衛生師別科(2年制)を廃止しました。

■組織の変更

大学改革室、教育研究支援センター、学習支援センターを発展的に廃止し、教職員一丸となって大学改革を進めるため、教学と経営の両面から大学改革立案、計画、申請、評価、改善する改革推進室を4月1日より設置しました。また、改革推進室の管轄のもとに教育関係を担当する教育推進センターと教員の研究関係を支援する学外連携センターを置き、改革を推進しました。

主な行事

4月4日	入学前オリエンテーション
4月5日	入学宣誓式
4月6日	大学院(通信制)入学宣誓式
4月7日 ~10日	新入生・在学生オリエンテーション
4月11日	前期授業開始
4月12日	霞祭
6月8日	春オープンキャンパス
7月26日 27日	夏オープンキャンパス
7月29日 30日	教員免許状更新講習会
8月1日 ~7日	前期定期試験
9月13日	教育懇談会(地方会場)
9月20日	教育懇談会(本学会場)
9月23日	学部学位記授与式、留学生別科1年半コース入学宣誓式
9月24日	後期オリエンテーション
9月25日	後期授業開始
9月27日	秋オープンキャンパス
10月25日 26日	芸科祭 芸科祭・保護者対象オープンキャンパス
12月2日	就職懇談会(東京会場)
12月6日	アイスアリーナリニューアル
2月3日 ~7日	後期定期試験
3月6日	就職懇談会(広島会場)
3月13日	就職懇談会(大阪会場)
3月23日	学位記授与式

学生・教職員数

■在籍学生数

(平成26年5月1日現在)

研究科・学部・学科名		入学定員	入学者数		収容定員	在学者数			秋期入学 ※	
			留学生	社会人		留学生	社会人			
大 学 院	芸術研究科(博士)	4	1	0	0	12	8	3	0	
	芸術研究科(修士)	20	6	1	0	40	13	1	0	
	産業科学技術研究科(博士)	4	0	0	0	12	2	0	0	
	産業科学技術研究科(修士)	16	10	0	0	32	21	0	0	
	人間文化研究科(修士)	15	3	2	0	30	7	4	0	
	大学院 計	59	20	3	0	126	51	8	0	0
芸 術 学 部	美術工芸学科 (募集停止)	—	—	—	—	105	60	1	0	
	メディア映像学科	50	52	6	0	154	168	12	0	
	デザイン学科	—	—	—	—	105	78	1	0	
	デザイン芸術学科	55	36	3	—	55	36	3	—	
	計	105	88	9	0	419	342	17	0	0
技 産 業 学 科 部 学	IT科学科 (募集停止)	—	—	—	—	0	2	1	0	
	起業経営学科 (募集停止)	—	—	—	—	0	1	1	0	
	経営情報学科	95	31	6	0	261	139	59	0	
	観光学科 (募集停止)	—	—	—	—	137	67	36	0	
	計	95	31	6	0	398	209	97	0	0
生 命 科 学 部	生命科学科	50	64	0	0	185	211	1	0	
	健康科学科	—	—	—	—	165	165	0	0	
	健康科学科(健康科学専攻)	55	74	0	0	55	74	0	0	
	健康科学科(鍼灸専攻)	30	8	0	1	30	8	0	1	
	生命動物科学科	—	—	—	—	199	198	0	0	
	動物生命科学科	60	54	0	0	60	54	0	0	
	生命医科学科	50	52	0	0	195	205	0	1	
	健康医療学科 (募集停止)	—	—	—	—	90	42	0	1	
計	245	252	0	1	979	957	1	3	0	
学部 計	445	371	15	1	1,796	1,508	115	3	0	
通学制 合計		504	391	18	1	1,922	1,559	123	3	0
大 学 院 (通 信 制)	芸術研究科(修士)	10	2	0	1	20	2	0	1	
	産業科学技術研究科(修士)	20	0	0	0	40	0	0	0	
	人間文化研究科(修士)	30	4	0	4	60	6	0	6	
計	60	6	0	5	120	8	0	7	0	
学部 (通信教育課程)	産業科学技術学部 (募集停止)	—	—	—	—	—	2	0	0	
計	—	—	—	—	—	2	0	0	0	
通信制 合計		60	6	0	5	120	10	0	7	0
総合計 (通学制+通信制)		564	397	18	6	2,042	1,569	123	10	0
別 科	留学生別科	60	2	2	—	80	16	16	—	32
	製菓衛生師別科 (募集停止)	—	—	—	—	40	7	0	0	—
	計	60	2	2	0	120	23	16	0	32

※ 秋期入学については、5月2日以降(平成26年5月2日～平成27年3月31日)に入学した者です

(単位:人)

■教職員数

(平成26年5月1日現在)

学長	副学長	教授	准教授	講師	助教	助手	別科講師	教員 計	(1)	事務職員
1	3	60	24	13	8	1	3	109		

(単位:人)

■ 卒業生数等一覧

(平成26年度)

区分		修了者・ 卒業生	満期 退学	就職希望者 A	就職者 B	就職率 B/A	進学者	退学者・ 除籍者	休学者	留年者 ※
大学院	博士	4	1	0	0	0%	-	1	0	1
	修士	22	-	14	14	100%	1	1	1	0
学部		380	-	278	261	94%	13	52	16	28
大学院（通信制）		2	-	-	-	-	-	0	0	0
学部（通信教育課程）		1	-	-	-	-	-	0	0	1
別科	留学生	14	-	-	-	-	14	11	0	0
	製菓衛生師	5	-	5	5	100%	-	3	0	0

※ 修業年限を超えて在籍している学生数（平成27年4月1日現在）

（単位：人）

主な就職先	(株)イマジテックデジタルスクエア、関電システムソリューションズ(株)、山陽新聞社、(株)新日本科学、セキスイハイム中四国(株)、(株)テイクアンドグリップ・ユーズ、(株)天満屋アトセンター、日本クリア(株)、平喜酒造(株)、(株)ホテルグランドパレス岡山、吉忠マリン(株)、岡山赤十字病院、岡山中央病院、倉敷成人病センター、倉敷中央病院、三重県中学校教員、倉敷消防局、広島市消防局、倉敷アイビースクエア、ヤマネ(株)、パティスリーココロ、パティスリーシエルブルー、ホノルルコーヒー
-------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

財務関係

■ 消費収支

(単位：千円)

科目	26年度 決算額	前年度 決算額
学納金収入	2,348,834	2,479,088
補助金収入	395,769	492,515
その他収入	246,484	277,807
帰属収入合計	2,991,086	3,249,410
基本金組入額合計	△ 25,498	△ 74,947
消費収入の部合計	2,965,589	3,174,463
人件費	2,214,670	2,345,625
教育研究経費	942,210	989,473
管理経費	261,463	252,886
その他支出	63,469	35,941
消費支出の部合計	3,481,813	3,623,925

■ 施設設備整備

(単位：千円)

事業名	金額
5号棟空調機更新	32,269
7号棟空調機更新	20,331
駐輪場上屋新設工事	7,454
正門前駐輪場上屋新設工事	13,349
大学名看板設置工事	17,000
弓道場射場夜間照明設備工事	2,744
22号棟メディア映像学科PC関連設備整備に伴う工事	2,916
総合医療健康センタースケートリンク改修工事	288,668
総合医療健康センター空調機更新	12,000
2号棟2402CALL教室PC更新	7,560
5号棟5519室PC関連設備	21,060
22号棟メディア映像学科PC関連設備	22,464
健康医療学科機器	3,975
健康医療学科図書	797